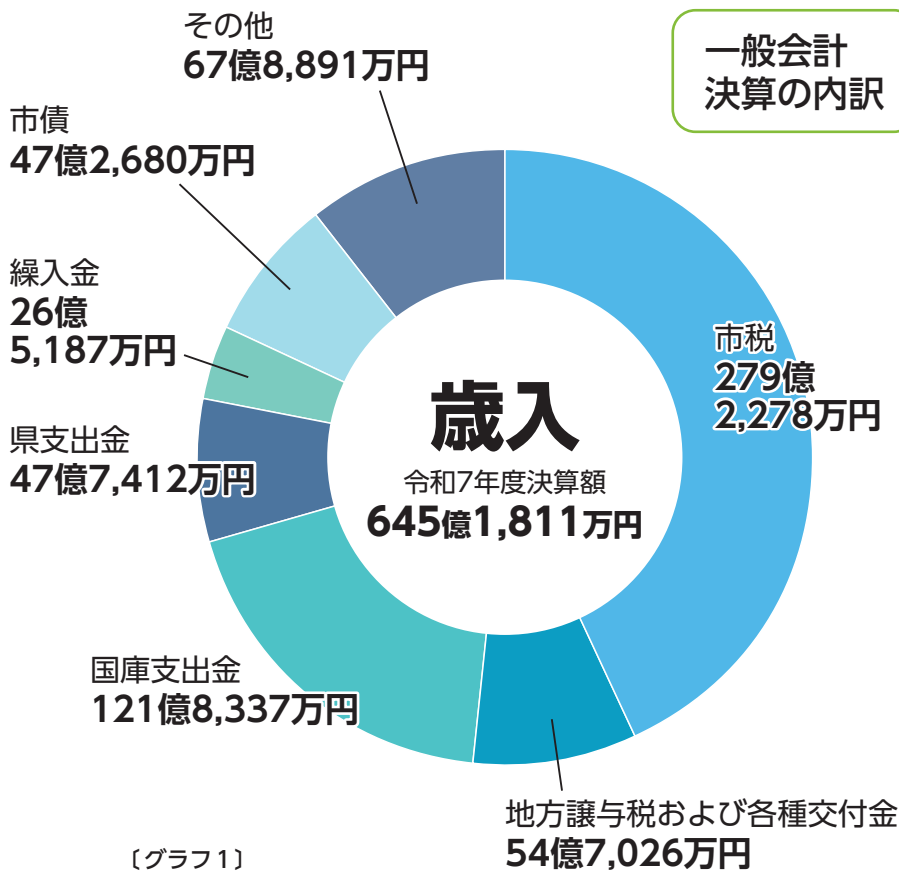


財政状況

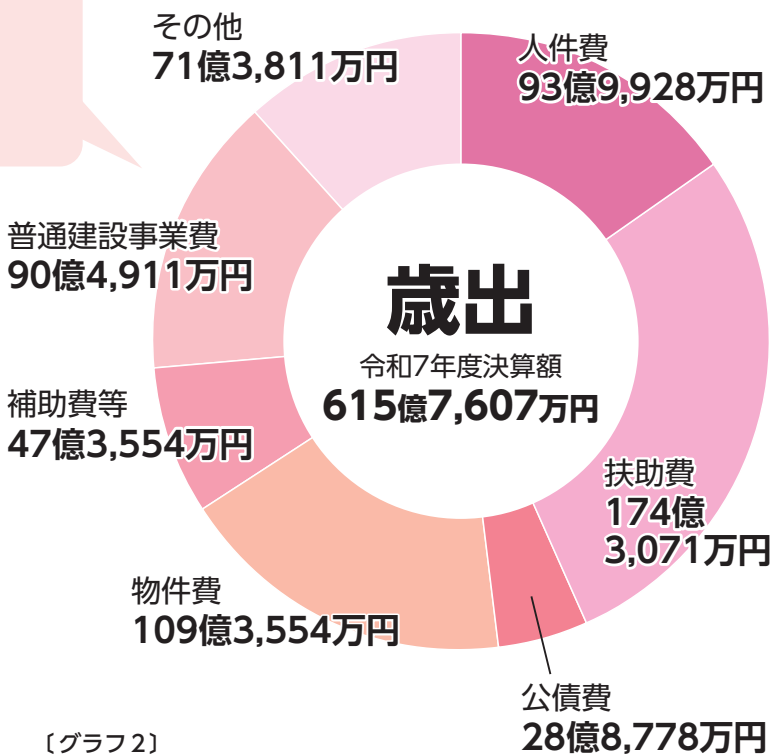
企画財政課 ☎046(235)8453

令和7年度一般会計の決算を中心に、市民の皆さんが納めた税金の使い道をお知らせします。

一般会計 決算の内訳



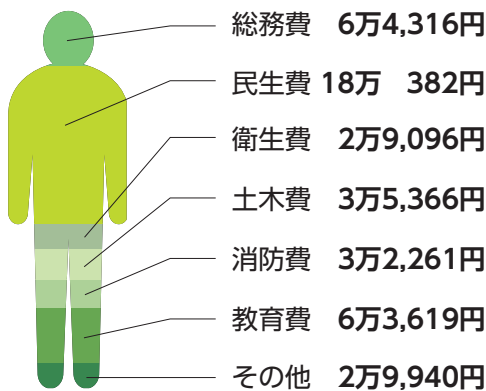
〔グラフ1〕



〔グラフ2〕

用語説明 ※歳出決算を性質別で分類した「性質別経費」で示します。
人件費…市長や市職員の給与、議員や会計年度任用職員の報酬など
扶助費…障がい者や高齢者への支援、生活保護費など
公債費…市の借金である市債の返済に充てる経費
物件費…消耗品、業務委託料など
補助費等…各種団体への補助金など
普通建設事業費…道路などの整備や建物の建設に関する経費

1人当たり総額 **43万4,980円**



市民1人当たりの 歳出決算額(目的別経費)

※住民基本台帳の令和8年3月31日現在の人口14万1,534人を基に算出

決算額

収支の管理は、「一般会計」「特別会計」と「企業会計」に分かれています。「一般会計」は基本的な行政運営の経費を賄うもの、「特別会計」は独

自の収入があるもの、「企業会計」は地方公営企業法の適用により企業会計方式で事業を運営するものです。

会計名	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	645億1,811万1,585円	615億7,607万2,440円
特別会計	257億3,966万1,146円	248億7,432万1,591円
	国民健康保険事業	120億7,717万9,167円
	介護保険事業	108億2,024万1,141円
	後期高齢者医療事業	28億3,112万2,238円
企業会計	公共用地先行取得事業	1,111万8,600円
	公共下水道事業	42億2,714万404円
公共下水道事業	42億2,714万404円	45億9,560万3,104円
合計	944億8,491万3,135円	910億4,599万7,135円

一般会計決算の概要

歳入は645億1811万円(グラフ1)、歳出は615億7607万円(グラフ2)となり、歳入・歳出ともに前年度を上回りました。

事業費が増加しました。また、生活応援商品券の発行などにより、補助費等が増加しました。

歳入は、海老名駅西口・駅間地区の開発の進展、人口増加などにより、個人市民税・固定資産税の税目が増加しました。一方、物価高騰などの影響により市内企業の収益が減少したことにより、法人市民税は前年度を下回りました。

市民1人当たりの基金・市債の残高は良好です。基金残高は6万2873円と、政令市を除く県内16市の中で9番目に多く、特別会計・企業会計分を含めた市債残高は28万5687円と、4番目に少ない金額です。

歳出は、高機能消防指令システムの更新、中新田丸田地区土地区画整理事業の進捗などにより、普通建設

事業費が増加しました。また、生活応援商品券の発行などにより、補助費等が増加しました。

財政状況は「健全」

自治体の財政状況は、財政健全化法に基づき算定され、国が定める基準を超えた場合、財政の健全化に取り組む必要があると判断されます。令和7年度の本市の財政状況は、「健全化判断比率」「資金不足比率」のいずれも国が定める「早期健全化基準」「経営健全化基準」を大きく下回り、問題なしと判断されました。

健全化判断比率

	健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	－(赤字なし)	11.76%
連結実質赤字比率	－(赤字なし)	16.76%
実質公債費比率	5.5%	25.0%
将来負担比率	38.1%	350.0%

資金不足比率

公営企業会計名	資金不足比率	経営健全化基準
公共下水道事業会計	－(資金不足なし)	20.0%